



2026.6.5

# OEKO-TEX® ECO PASSPORT 10 周年

## 化学薬剤の透明性向上に向けた基準をさらに強化

OEKO-TEX® ECO PASSPORT(エコテックス®エコパスポート)は、2015 年の認証発足から 10 周年を迎えました。現在では、50 カ国以上において、65,000 点を超える認証製品、2,125 件の認証書、1,400 社以上の認証企業実績を有しています。

この節目に、OEKO-TEX®(エコテックス®)国際共同体は、各ラボにおける OEKO-TEX® ECO PASSPORT の試験データを分析調査しました。今回の調査では、基準値超過が多く見られる試験項目や、その傾向が強い製品群を明らかにしました。OEKO-TEX®国際共同体は、こうした情報開示を通じて、繊維・皮革・化学業界における厳格な安全基準への対応を支援するとともに、業界全体の説明責任の向上と技術革新の促進を目指しています。

### ラボ分析調査の結果が示す実態

2025 年に実施した OEKO-TEX® ECO PASSPORT 試験データに基づくラボ分析調査の結果、第三者機関による分析試験の重要性と、その評価プロセスの複雑さが改めて浮き彫りとなりました。特に、分散染料、バット染料、硫化染料の一部では、キノリン、アニリン、ジメチルフマレート(DMFU)など複数の試験項目において、継続的に基準値超過が確認されています。この結果は、業界全体を俯瞰してみると特異なものではなく、継続的な分析試験の実施が必要不可欠であることを裏付けています。

PFAS の検出事例は依然として少ないものの、各ラボにおいて総フッ素(Total Fluorine)の検出件数が増加傾向にあることが確認されました。これを受け、OEKO-TEX®は、検出されたフッ素が PFAS 由来か非 PFAS 由来かを判別する新たな分析方法を開発しました。フッ素化合物に対する規制強化が進む中、この新しい分析方法は、より明確な情報開示を可能にする革新的な技術として注目されています。

▶2025 年のラボ分析調査結果の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

### Greener chemistry – 法令遵守から競争優位へ –

“Greener chemistry”は、単なる化学薬剤の置き換えではありません。原材料の純度、エネルギー効率、排水管理、さらには製品寿命終了後の分解性まで、生産プロセス全体を包括的に見直すことが求められます。OEKO-TEX® CEO の Alfred J. Beerli 博士は、「化学薬剤の透明性は、もはや自主的な取り組みではなく、法的義務になりつつあります。OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、取得企業に対して品質管理システムの維持、従業員教育、適切な廃棄物管理を求めることで、この包括的な視点を支えています」と述べています。

透明性こそが、“Greener chemistry”を実現するための重要な基盤です。化学組成や性能に関する中立的かつ実証的な情報がなければ、メーカーやブランドは適切な調達判断を行うことができません。

OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、とりわけ主要な生産市場において、確固たる地位を築いています。中国とインドでの認証書発行数は、世界の約 3 分の 2 を占めています。これは、生産量や化学薬剤使用量の多い地域において、本認証の重要性が高いことを示しています。

## 成長の10年、そして規制対応が求められる次の10年へ

OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、認証開始以来、継続的な成長と開発を進めてきました。近年では、生分解性評価基準の追加や、ZDHC Gateway、The BHive®といったデジタルプラットフォームとの連携強化などが挙げられます。

Beerli 博士は、「今後10年間、安全な化学薬剤を証明する信頼できる第三者認証は、不可欠なものとなるでしょう。OEKO-TEX® ECO PASSPORT の継続的な開発は、進化し続ける法規制やコンプライアンス要件への対応を支えていきます」とコメントしています。

これまで10年間の実績を積み重ねてきた OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、責任ある化学薬剤管理へ向けた業界基盤として、今後ますます重要な役割を担っていきます。

## OEKO-TEX® ECO PASSPORT とは

OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、繊維・皮革産業において長年課題の一つとされてきた「工場で使用される前段階での化学薬剤の安全性確認」に対応する認証制度として、10年前に発足しました。成分表示やCAS番号のスクリーニングだけに依存せず、第三者試験機関による分析試験を必須としている点が大きな特長です。この認証は、ECHA-SVHC、EU REACH、EU POP、ZDHC MRSL 3.1 へ準拠しています。

OEKO-TEX® ECO PASSPORT は、最新の科学的知見や法規制動向を反映しながら、継続的に更新されています。認証製品は、OEKO-TEX® Buying Guide、ZDHC Gateway、The BHive®に掲載されるほか、OEKO-TEX® STANDARD 100(エコテックス®スタンダード 100)、LEATHER STANDARD(レザースタンダード)、ORGANIC COTTON (オーガニックコットン)における事前認証としても活用されています。

## OEKO-TEX®とは

OEKO-TEX®は30年以上にわたり、繊維・皮革産業の製造工程を透明かつ持続可能な方法で最適化するため、標準化されたソリューションを提供してきました。その基盤となるのは、OEKO-TEX®の科学的原則に基づく理念であり、高品質で安全かつ持続可能な製品を市場に送り出すことに貢献してきました。現在、100を超える国々のメーカー、ブランド、商社など35,000社がOEKO-TEX®を利用しています。また、世界中の何百万人もの消費者がOEKO-TEX®ラベル付き製品を購入しており、責任ある購買行動の指針として広く認知されています。

OEKO-TEX®認証を取得している製品や企業は、オンラインのOEKO-TEX®バイイングガイド【<https://www.oekotex.com/jp/buying-guide>】をご覧ください。

### ◆ 本リリースに関するお問い合わせ先 ◆

#### エコテックス®認証について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター  
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部  
E-mail: [oeko-tex@nissenken.or.jp](mailto:oeko-tex@nissenken.or.jp)

#### エコテックス®広報・PRについて

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター  
事業推進室 マーケティンググループ  
E-mail: [pr-contact@nissenken.or.jp](mailto:pr-contact@nissenken.or.jp)